

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの経過措置で使用できます。

# CASBEE<sup>®</sup> 広島 (2010年ver. 1.8)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2013年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	アパホテル 広島駅前大橋	階数	地上14階
建設地	広島市南区京橋町2番4	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	580 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年7月 予定	評価の実施日	2014年11月19日
敷地面積	1,781 m <sup>2</sup>	作成者	和田 光史
建築面積	1,217 m <sup>2</sup>	確認日	2014年11月20日
延床面積	14,325 m <sup>2</sup>	確認者	新家 利夫



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.9**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.1

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.8

### 3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.6

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.7	スコア = 3.1	スコア = 3.8
<p><b>設計の計画上特段に配慮した事項</b></p> <p>高い断熱性能の確保や日射に対する配慮により快適な居住空間を実現 / 屋光利用、通風、自然換気を考慮 / BEIでの評価値による。// 主要水栓に節水コマの使用及び節水を図り雨水を再利用することで水資源を保護する。リサイクル材の使用に配慮する。/ 屋上からの廃熱に配慮。雨水利用。</p>	<p><b>設計の計画上特段に配慮した事項</b></p> <p>環境・周辺への配慮は対応が難しいが、できる限り配慮する / 車両及び人通りの多い北側道路を避け、南側道路より車の出入口を確保する。また敷地内に駐車場の設置基準52台に対し、88台を確保している。</p>	<p><b>設計の計画上特段に配慮した事項</b></p> <p>建物における耐用年数の確保に配慮する / 必要な箇所に点検口を設置する。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される